



やまゆり

学校だより

令和5年10月4日
47号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育目標重点 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する保護者・地域との連携」

祝！ 本校のPTA活動が「文部科学大臣表彰」を受賞しました

昨日、文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室の担当者より、山梨県教育委員会を通じて「令和5年度 優良文部科学大臣表彰」の内定通知がありました。

保護者の皆様には、PTA山本会長をはじめとして学校教育へのご理解とご協力を頂いています。これは、令和5年度以前も全く同様のことです。そのような、PTAの献身的な努力が認められ、文部科学省から表賞されることは本校PTAだけでなく、道志村や山梨県にとっても名誉なことです。皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

表賞式は、11月24日(金)に「ホテルニューオータニ」で行われる予定です。

本校のPTA活動が表賞された主な理由

1 本校のPTA活動の概要

・PTA活動でいじめ・不登校・学力向上・キャリア教育・安全管理等の教育課題を改善し、居心地良く魅力ある学校づくりを推進している。

※ PTAのPは保護者、Tは教職員、Aは連盟・連合等の共同体の意味

2 学校の教職員が組織で教育活動の基盤をつくる

・「班の3つの機能」(①居場所づくりの組織、②生徒の目標を適える組織、③配慮や関わりを学ぶ組織)で「安定」をつくり、「単元を貫く課題解決学習」で主体性や集団の活性化を向上して教育活動の基盤づくりを徹底する。

※ 教職員の協働体制で安定と活性化を両立した学級づくりを全学年で実現し、いじめや不登校の防止を徹底する。

3 教育課題を改善するPTA活動

① いじめ防止活動(保護者・生活部)

・本校独自に防災教育の自助・共助・公助の「三助法」で、いじめ防止を実践している。教職員や生徒の主体的な活動だけでなく、生活部会で「いじめに関する学習会や保護者の共助、学園祭での生徒への啓発」等を推進している。※R3年から

② キャリア教育(文化部)

- ・人口約1,550名の道志村で働く職業人を窓口にも、ふるさとの人々を支える仕事を通して職業の意義や生きがいについて考え、職業観を広げ、働くことの理解を深めるキャリア教育を文化部会で推進している。

③ マラソン大会の安全体制づくり(体育部会)

- ・マラソン大会での安全確保のためにPTA役員が中心になり、安全な体制づくりを体育部会を中心に保護者で推進している。

※ 学園祭や運動会を前に、小中学校の保護者・教職員がほぼ全員参加して環境整備活動をしてきた。教職員の働き方改革、保護者の負担等もあり改善すべきことは改善したことも評価されている。

④ 新制服の制定

- ・防寒・防暑・ジェンダーへの対応を考え、児童・生徒・保護者等の意見をもとにPTA役員が中心となってR4年度に新制服を制定した。

本校の研究を毎年公開研究会で発表し評価されてきた

R3年 関東甲信越地区代表で全国へき地研究協議会で発表・自主公開 7月実施
R4年 全国へき地研究協議会 山形大会で山梨代表として発表・自主公開 11月実施
R5年 令和のやまなし教育活動モデル事業 協力校として公開研究会 10月18日

生徒への「個別最適な学び」・「協働的な学び」で、「主体的に学ぶ生徒を育成する」

国語科における全校生徒の異学年交流→全校太鼓等の主体的・協働的な学びを公開

18日の公開研究会には、道志小中の教職員の他 以下の方々が参加

山梨県義務教育課 課長補佐・指導主事 富士・東部教育事務所 3名

道志村教育委員会・教育委員 福井県会議員 鳴沢村教育長

早稲田大学河村研究室 2名 元山梨大学名誉教授 他近隣の小中学校教職員

R4年 山形大会での本校の発表内容

学級の「安定と活性化」の実践からの提起

提起1 WEBQU等の「共通指標」を活用してチーム学校を組織で指導する。

提起2 階層的序列を改善するために、「3つの機能の班活動」で安定を徹底してつくる

提起3 安定を基盤に活性化を「単元を貫く課題解決学習」でつくる

提起4 生徒の価値観を揺さぶる ICT・地域人材活用等

提起5 安定と活性化による持ち上げの成果と可能性

提起6 これからの教育を担う人材育成の重要性

保護者・生活部会のいじめに関する取り組み

R3年の保護者学習会

PTAのいじめの学習会



16

R4年 学園祭での啓発



R4 文科省 全国いじめサミットへの参加 少年の主張で主体的に県内に発表

文部科学省全国いじめ問題子どもサミット参加・少年の主張山梨県大会



18

文化部 キャリア講話会

PTAによるキャリア講話会



25

道志村で働く職業人の生きがいや職業観を再発見するキャリア講話会

- 道志村には自分の希望する職業や職場さえない。それでは、道志村には住むことはできない? 都会へ?
- 狭い視野や浅い生活経験の生徒が、地元で生まれ育った自分自身を含め、当該地域人々の暮らしを支えている職業人の思いや重要性に気づく?
- 思い込みや狭い視野、偏見を打破し、新しい職業観や新しい故郷の良さを発見する

26

体育部 マラソン大会の安全確保



R4年 PTAによる制服変更



第55回日本PTA関東ブロック研究大会ちば大会での提案発表

文部科学大臣表彰の受賞の前に、山梨県PTA連絡協議会より本県代表としてPTAの関東大会で本校のPTA活動について発表して欲しいと依頼されています。

10月28日(土)に千葉県教育会館大ホールで校長が発表します。

※ 本県の代表校の選定には、山梨県PTA連絡協議会の約20名の方々の選考があり、その中で、道志中PTAの活動が「先進的」であり、今後のPTA活動として全国の方々に知って欲しい内容として決定されたと聞いています。

他校のPTA会長さんからの視察依頼を受けました

他校のPTA会長さんが、PTA活動等によって成長している本校の生徒の様子・PTA活動等について詳しく知りたいとのことで、今後視察に来校されます。

熱心さに驚くと共に、日々の教育を通して社会に貢献したいと思います。

教育重点目標 「居心地良く、やる気のある学級づくり」

いじめや不登校は喫緊の最重要課題です

文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校調査」の2022年の結果が発表されました。

不登校(小・中)29万9千人 (22, 1%増・過去最多)

専門期間等に繋がっていない不登校生徒11万4千人(28, 4%・過去最多)

いじめ認知(小中高)68万2千件(10, 8%増・過去最多)

いじめの重大事態(小中高)923件(217件増・過去最多)

ネットいじめ約2万4千件(前年度比2, 7倍)

いじめを認知した学校82.1%(30,3%増・過去最多) ※前年度51. 8%

自殺(小中高) 411人 (43人増・過去2番目)

暴力行為(小中高)約9万5千件(24, 8%・過去最多)

道志中学校は、単級で9年間の持ち上がりです。メリットもありますが、最大のデメリットは「階層的な序列」により「心理的な安定が保たれない」ことです。学級が荒れるとさらにその傾向は強くなり、いじめや不登校の可能性が高くなります。「安定していて主体性の高い学級・学校づくり」は最重要課題です。本校では組織で学級づくりを推進し、3学年とも安定し活性化した状態です。

